

震災後の財政運営について

質問(小野寺尚武議員)震災後の復興・復旧状況及び今後の財政運営について伺います。

答弁(市長)復興に関しましては、国庫補助の災害査定を受け順調に進展しており、庁舎建設につきましても、大田原市庁舎整備等検討委員会で適正な庁舎のあり方について検討をいただいておりますが、現状の分散した行政機能を集約するためには、当面の措置として仮設庁舎を建設し、住民サービスの向上を図ってまいりたいと考えております。

市有施設の復興・復旧につきましては、五月二日に公布されました東日本大震災に対処するため特別の財政援助及び助成に関する法律により補助対象となつた本庁舎、仮設庁舎建設費は、今定例会補正予算として計上し、教育施設、公園施設、道路、下水道施設など災害復旧に補助が受けられるものは、災害査定を受け復興・復旧工事を行ってまいります。

今回の震災関連経費につきましては、現在のところ総額で約十八億円となりますが、その財源の



ミヤコタナゴ生息地水質調査 (羽田小学校)

小中学校における環境教育の推進について

質問(益子石夫議員)小中学校における地球温暖化対策や自然エネルギーの活用・生物多様性の保全等をテーマとした実践的な環境教育の取り組みについて伺います。

答弁(教育次長)学校における地球温暖化対策については、現在市内全小中学校ではグリーンカーテンの設置やエアコンの使用制限・消灯の徹底に学校を挙げて積極的に取り組んでおります。

また、ストゥップ温暖化アクションやエコチャレンジ活動など、テ

マを設定して、省エネルギー等に取り組んでいる学校もふえてきております。

自然エネルギーの活用については、小学校では、電気の働きや発電について学習しており、光電池・蓄電・電気の利用についてその仕組みを学んでおります。中学校では、エネルギーとその変換エネルギー資源とその利用の学習の中で、太陽光・風力・地熱・波力・バイオマスなどさまざまな発電につきまして学んでおります。

生物多様性の保全については、

各小学校では、ウサギや鳥の飼育、メダカやミヤコタナゴの飼育観察、羽田沼の白鳥を守る活動など、学校の特長を生かしながら生物多様性に「ふれる活動」に積極的に取り組んでおります。さらには、総合的な学習の時間等で環境破壊や絶滅危惧種などについて調べたり考えたりしたことを話し合うなど「伝える活動」にも取り組んでおります。

今後、教育委員会といたしましては、地球温暖化対策・自然エネルギーの活用・生物多様性の保全等を中心とした環境教育の充実がさらに図られるよう各学校を支援してまいります。

確保に当たりましては、一般行政経費を最小限に抑制し、先送りできる事業は、当面執行を見合わせることにしたところであり、学校給食の無料化を見直し、助成額を変更に減額分を学校校舎の修繕等に充当したほか、各種イベントの事業も、休止や延期、大幅な縮小等と見直しをし、その他、平成二十二年度の決算による余剰金も当初予算を上回る額が見込まれたことから、当面の財源として対応したところであります。

今後も復興・復旧に当たっては、補助制度や工法などを考慮する必要のあるものなどの選別を行うとともに、市の災害復興本部会議で優先度や必要性の判断を行ってまいりたいと考えております。



大田原市庁舎整備等検討委員会の様子